

蝶と蛾 *Tyô to Ga*, **41** (2): 129–130, 1990

石垣島でシタベニセスジスズメを採集

谷田昌也

〒567 茨木市大池 2-5-26

The First Record of *Hippotion celerio* LINNAEUS from Japan (Lepidoptera, Sphingidae)

Masaya TANIDA: 2-5-26 Ôike, Ibaraki, Osaka, 567 Japan

Abstract A male of *Hippotion celerio* LINNAEUS is recorded from Japan (Ishigaki Is.) for the first time.

Key words Lepidoptera, Sphingidae, *Hippotion celerio*, Ishigaki Is.

シタベニセスジスズメ *Hippotion celerio* LINNAEUS 1758は、アフリカからアジアおよびオーストラリアの熱帯地方に広く分布し、台湾にも分布することから戦前の図鑑(松村, 1935 など)にも記載されていたが、現在の我国の領土域からの記録はなかった [D'ABRERA (1986) や朱弘復 (1980) には、本種の分布域に「日本」という記載があるが、それを裏づける記録は不明である]。

筆者は、沖縄県石垣島にて本種を採集したので報告する。

データ: 1 ♂, 8. v. 1988, 沖縄県石垣市名蔵 (筆者採集, 保管) (Fig. 1)

旅館のベランダに設置したナイターセットを早朝に見たところ、上記の個体がミドリスズメやイッポンセスジスズメなどと一緒に止まっていたもので、比較的新鮮であった。

本種は熱帯地域でのいわゆる普通種であり [HOLLOWAY (1987) によれば、ボルネオでは低地の農耕地からキナバル山の 2600 m 付近まで見られるという]、さらに移動性の強い種としても古くから知られている。GILCHRIST (1979) によれば、イギリスなどの高緯度地方でもしばしば採集されており、1885 年には、41 個体も得られたという。台湾においては、たいへん稀 (岸田, 1977) で、本種が日本の土着種なのかどうかは今後の調査に負うところである。

なお、本種の和名は、松村 (1935) に「シタベニスデスズメ」とあるが、本稿では、岸田 (1977) に従って「シタベニセスジスズメ」とした。

末筆ながら、本稿執筆にあたり、いろいろと御教示頂いた岸田泰則氏、写真の撮影をお願いした木下総一郎氏、石垣での採集に同行頂いた緒方正美、藤沢勝利両氏に御礼申し上げる。

文 献

- 朱弘復, 王林瑶 [CHU, H.F. & WANG, L.Y.], 1980. 天蛾科. 中国経済昆虫志**22**. 科学出版社, 北京.
D'ABRERA, B., 1986. Sphingidae Mundi, Classey, Oxon.
GILCHRIST, W.L.R.E., 1979. *Sphingidae* In HEATH & EMMET, The Moths and Butterflies of Great Britain and Ireland, **9**. Curwen, London.
HOLLOWAY, J.D., 1987. The Moths of Borneo **3**. The Malayan Nature Society, Kuala Lumpur.
岸田泰則, 1977. 台湾蛾類図説 (4). 月刊むし, **76**, 月刊むし社, 東京.
松村松年, 1935. 日本昆虫大図鑑. 刀江書院, 東京.

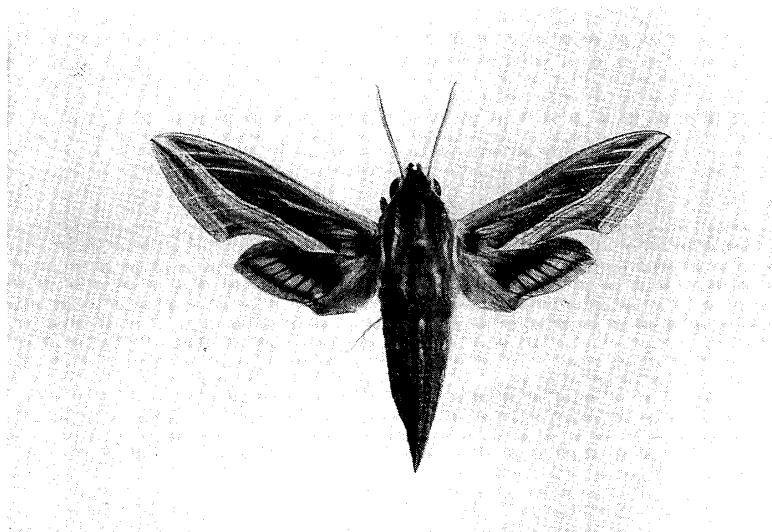


Fig. 1. *Hippotion celerio* LINNAEUS ♂.

Summary

A male of *Hippotion celerio* LINNAEUS was captured at Ishigaki Island in Okinawa Prefecture on May 8th, 1988 by the author. This is the first record of the species from Japan.

This species is widely distributed in the Southern Palaearctic, Ethiopian and Oriental Regions and Australia, and known as "a rare immigrant" in northern Europe.

This record may also be such a migratory case in Japan.

(Received 5 September 1989)